東京ドキュメンタリー映画祭
Tokyo Documentary Film Festival
2018

MOTION GALLERY
クラウドファンディング・プラットフォーム

東京ドキュメンタリー映画祭２０１８

クラウドファンディング７月 16 日（月）より開始のお知らせ

ドキュメンタリーマガジンneoneoの編集部が、今年、東京ドキュメンタリー映画祭を初開催いたします。会場は新宿のミニシアター　K’s Cinema、会期は2018年12月1日（土）～12月14日（金）に決定しました。

現在、ドキュメンタリー作品を上映して、作家や作品が評価される場は不足しています。neoneo編集部はこれまで１１冊の雑誌の刊行、Webサイトを運営しながら、常にドキュメンタリー映画の置かれている現状を考えてきました。そして今年、映画・テレビ・ネット動画という垣根を取り払い、国内のドキュメンタリー作品（長編・短編）を上映する場を創出するべく、新たな登竜門となる映画祭を開催する運びとなりました。会期中は長編・短編のコンペティションだけでなく、日本のこれまでのドキュメンタリー映画を振り返る作家特集や、日本・アジアのドキュメンタリー映画のこれからに迫るような特集上映が続々決定しております！

また、１２月の開催に向け、７月１６日（月）よりクラウドファンディングを開始いたします。締め切りは10月31日（水）の23:59まで。５００円から１０万円と幅広い金額設定となっています。特典は、限定情報のアップなど映画祭開催までを楽しんでいただけるものから、映画祭のフリーパスや記念品のプレゼントなど、映画祭期間をより満喫できるような内容が盛りだくさん。映画祭の詳細や、クラウドファンディングの内容については、下記ページをご覧いただき、東京ドキュメンタリー映画祭を一緒に盛り上げていただけますと幸いです。

クラウドファンディングページ：　https://motion-gallery.net/projects/TDFF/
Facebook：　https://www.facebook.com/tdff.neoneo/
Twitter：　@TDFF_neoneo
neoneo ホームページ：　http://webneo.org

主催団体「neoneo編集室」について
neoneoは2001年にメールマガジンとしてスタート。編集長は小川プロダクションでプロデューサーをつとめてきた伏屋博雄。現在は、Webサイト「ドキュメンタリーカルチャーの越境空間neoneo web」の運営と、雑誌「ドキュメンタリーマガジンneoneo」を刊行しています。

東京ドキュメンタリー映画祭　１２月１日(土)から K`s cinema にて開催決定！